

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	司法研究科
大項目	2 入学者選抜
中項目	
小項目	2.0.1 入学者選抜基準等の規定・公開
要素	適切な学生受入方針、選抜基準及び選抜手続が明確に規定され、適切に公開されていること。
小項目	2.0.2 入学者選抜の実施
要素	入学者選抜が、入学者選抜の基準及び手続に従って適切に実施されていること。
小項目	2.0.3 既修者選抜基準等の規定・公開
要素	適切な法学既修者の選抜基準・選抜手続及び既修単位の認定基準・認定手続が明確に規定され、適切に公開されていること。
小項目	2.0.4 既修者選抜の実施
要素	法学既修者の選抜及び既修単位の認定が、所定の選抜・認定の基準及び手続に従って適切に実施されていること。
小項目	2.0.5 入学者の多様性の確保
要素	入学者全体に対する「法学部以外の学部出身者」又は「実務等の経験のある者」の割合が3割以上であること、これに至らない場合は3割以上となることを目標として適切な努力をしていること。

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 面接試験の結果を重視するため、特別入試で総合点が優れていても不合格とする制度に改める。	→特別入試における面接点の最低基準の決定	D	C	B	B	/
2. 既修者試験について、専門の各科目の合格最低点を決定する。	→科目別の合格最低点の決定。	C	B	B	A	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	入試要項上は「論文試験、面接試験、適性試験、特性評価の総合点で合否判定します。ただし、合格最低得点を上回っていても、論文試験、面接試験、適性試験、特性評価の成績が一定の基準を満たさない場合は不合格となる場合がある」としており、面接結果が著しく低い場合には合否を協議することになっている。
目標2	各科目の最低点を定め2013年度入試より実施している。
備考	